

## 令和7年度 萩市自立支援協議会 実績報告(就労支援部会)

就労支援部会では、障がいのある方が自分らしく働ける環境づくりを目指し、新制度への対応や支援員のスキルアップに取り組んでいます。

### 1.新サービス「就労選択支援」の円滑な導入

・令和7年10月から施行された新サービス「就労選択支援」に対し、北浦圏域(萩・阿武・長門)でいち早く連携体制を整えました。

#### 【制度の概要】

・本人の希望や適性に合った働き方(一般就労や就労系福祉サービス等)を、専門的なアセスメントを通じて選択できるよう支援するものです。

#### 【取組実績】

・施行に先立ち、行政・学校・事業所による合同検討会を開催。手続きの流れを事前に整理した結果、10月の制度開始と同時に1名の方が円滑に利用を開始し、新たなライフステージの選択へとつなげることができました。

#### 【市内の状況】

・令和8年1月時点で、市内に2事業所が指定。萩市の就労相談体制がより充実したものになりました。

### 2.事業所間の連携と支援技術の向上

・市内の就労支援事業所が互いに学び合い、地域全体のサービス水準を底上げするための取り組みを継続しています。

・事業所見学会・意見交換会の実施：市内5か所の事業所(A型・B型事業所等)を相互に見学しました。

・他所の工夫を直接目で見ること、自事業所の作業環境改善やサービスの質向上に役立てています。

#### 【就労支援に関するチェックシートの運用】

・チェックシートを活用することで、一般就労への移行判断等がより明確になり、利用者・支援員双方から好評を得ています。

(就労準備チェックシート)

・本人が自身の作業状況を客観的に判断するためのツール。

(つなぐシート)

・事業所間で情報共有を行うための連携ツール。

#### 【事例検討会の開催】

・困難事例に対する多角的な視点での意見や支援手法の共有を行い、地域全体で課題を解決する力を高めています。

### **3.今後の展開と新たな挑戦**

・これまでの継続的な取り組みに加え、次年度は以下の新しい企画を予定しています。

#### **【若手職員向け情報交換会の開催】**

- ・入職3年目以内の支援員を対象に、法人を超えた交流の場を設けます。
- ・若手支援員が抱える悩みを共有し、広い視野を持つことで、将来の萩市の就労支援を担う人材の育成を目指します。

#### **【連携ツールの普及拡大】**

- ・好評を得ている各種チェックシートの活用事例をさらに増やし、スムーズな就労移行を促進します。